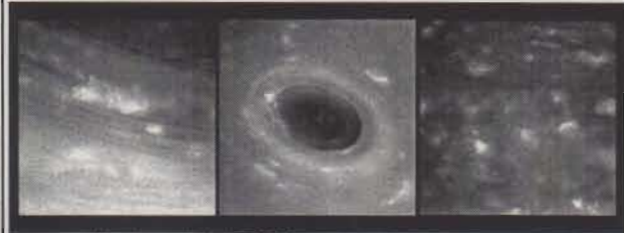
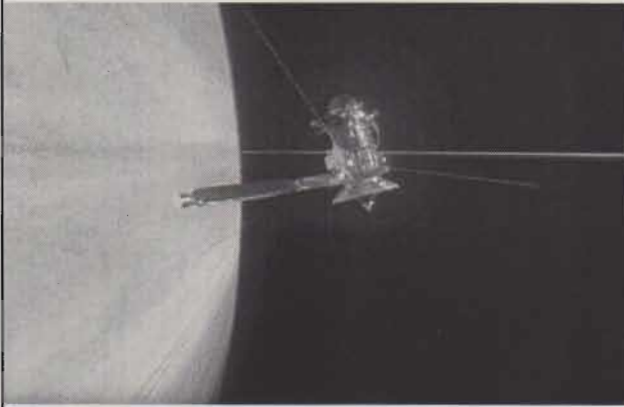


カッシーニ、最終ミッション グランドフィナーレ 写真・イラスト提供 NASA/esa



カッシーニ探査機が撮影した土星の雲の様子

1997年に地球を出発し、2004年から13年間にわたり、土星の驚くべき姿を地球に届けてきたカッシーニ探査機が、最終ミッションに入りました。土星本体と環の間を22回通り抜けるグランドフィナーレです。第1回目の超接近では、土星の渦の様子が捉えられています。 参照：<https://saturn.jpl.nasa.gov/>

カッシーニ探査機の成果の中から特に2つ。

- ①衛星タイタンに「ホイヘンス」を着陸させ、その降下時に地球以外で初となる『音(風切り音)』を収録。また、タイタンの沼や川を撮影、表面の化学組成を観測。
- ②衛星エンケラドスは、水の氷の結晶が火山噴火のように噴出していること、液体の水が大規模に地下に海として存在する証拠を発見。

宇宙から見る地球2017

写真提供 上：NASA/esa 下：Google/SKtelecom/ZENRIN

2010年に放映した番組を再構成して放映しています。7年前と格段に進歩したのは、人工衛星からリアルタイムで地球の映像が提供されるようになったこと、そして、白井プラネタリウムの機器が更新され「宇宙に飛んで」行けるようになったことです。NICT(情報通信研究機構)の「ひまわり8号リアルタイムweb」は可視光で見たその日の気象がよくわかります。参照：<http://himawari8.nict.go.jp/ja/himawari8-image.htm>

カッシーニ探査機が撮影した環の隙間から見た地球 →



今月の見どころの重星連星天体

カストル(ふたご座α星) 多重連星系(六重連星系) 1.9等のカストルAと2.8等のカストルB。また、それぞれがふたつの星からなる連星。さらにふたつの連星をまわるカストルCも連星。5.0等と6.1等、ε2は5.1等と5.4等の連星系。

かに座イオタ(かに座ι星) 黄色の4.0等星と青色がかった6.6等星の二重星

ミザール(おおぐま座) 肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。

アルギエバ(しし座γ星) オレンジ色 2.6等星と黄色の3.8等星の二重星。連星系

夜の日本付近 → 2013年撮影

日本は、夜でも海岸線を迎えるほど明るい。

20年前と比べると韓国や中国の光害が著しい。



しろいメール配信サービスに登録しましょう！
 ◎文化センターイベント情報 ◎コンサート情報
 ◎イベント講座情報 イベントの前にメールが届きます。



①おおぐま座イオタ(かに座ι星) 黄色の4.0等星と青色がかった6.6等星の二重星。連星系
 ②カストル(ふたご座α星) 多重連星系(六重連星系) 1.9等のカストルAと2.8等のカストルB。また、それぞれがふたつの星からなる連星。さらにふたつの連星をまわるカストルCも連星。5.0等と6.1等、ε2は5.1等と5.4等の連星系。
 ③ミザール(おおぐま座) 肉眼二重星のアルコルで、目の検査もしましょう。
 ④アルギエバ(しし座γ星) オレンジ色 2.6等星と黄色の3.8等星の二重星。連星系